

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成19年8月31日

作成者：(財)日本システム開発研究所

	<b>【施設名称】</b> 金沢市臨海水質管理センター
	<b>【事業主体】</b> 金沢市
	<b>【所在地】</b> 石川県金沢市
	<b>【運転開始年】</b> 平成17年(2005年)
<b>原材料および利用量</b>	下水汚泥
<b>生産物(種類)</b>	バイオガス
<b>利用方法</b>	-
<b>導入目的・経緯</b>	下水汚泥から発生する消化ガスを有効活用することで、都市ガスを経済的に生産するとともに、二酸化炭素の排出量削減による地球温暖化防止に寄与するため
<b>設備仕様</b>	消化タンク加温用ボイラ(消化タンク、脱硫等、ガスタンク) 都市ガス製造プラント(吸収塔、圧縮機、除湿器、熱調機、LPGタンク、クッションタンク)
<b>稼働状況</b>	-
<b>経済性関連データ</b>	NEDO補助(補助率1/2) 「地域新エネルギー導入促進事業 バイオマス燃料製造」 「地域省エネルギー普及促進対策事業」
<b>導入効果</b>	平成17年度の都市ガス製造量282,000m <sup>3</sup> /年、二酸化炭素削減量500t-co <sub>2</sub> /年であるが、平成31年度以降には各々800,000m <sup>3</sup> /年、1,500t-co <sub>2</sub> /年に増加する見込みである
<b>運営上の課題</b>	-
<b>備考・参考資料</b>	・北陸農政局HP(H18年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例)